

年齢の異なる子供のいる家庭での 乳幼児の事故防止ガイド

ヒヤリ・ハットレポート No.17

東京都では「年齢の異なる子供のいる家庭での乳幼児の危険」に関するヒヤリ・ハット体験を掘り起こすためにインターネットアンケート調査を行いました。

このガイドは、調査結果に基づき、兄や姉がいる乳幼児のヒヤリ・ハット体験や事故を防止するためのポイントをまとめたものです。

①兄や姉が使う製品でヒヤリとした、②乳幼児のために使う製品でヒヤリとした、③その他の製品でヒヤリとした、の3つの場面に分けて紹介します。

①兄や姉が使う製品でヒヤリ!



※このガイドにおける「乳幼児」とは、0歳～6歳の未就学児をいいます。

① 兄や姉が使う製品でヒヤリ!

はさみ・刃物で... (382件)

切った 378件等

- 兄がはさみを使っているときに、下の子が手を出して触ろうとして、はさみで指を少し切ってしまった。(1歳・女兒)
- 上の子が使っていたカッターをいつものまにか手にして、刃の部分を持ってしまい、指を深く切ってしまった。(4歳・男児)



文具類で... (93件)

誤飲 41件、突いた・刺さった 35件、切った 9件等

- 5歳の姉が工作をしている最中に、1歳の妹が机の上にあるクレヨン等に手を伸ばし口に運んでいた。(1歳・女兒)
- 4歳の兄が使っていた鉛筆がテーブルの上に置いてあり、2歳の妹がその鉛筆を持って歩き転びそうになった。(2歳・女兒)



こんなことも...



- 兄が小学校で使った磁石の実験キットを、妹が勝手に開けて磁石を口に入れていたので、慌てて取り上げた。(2歳・女兒)



- 小学生の兄のおもちゃのラジコンの蓋を開けて電池を口に入れようとしていた。(1歳・男児)



- 姉が飲もうとした飲み物を取り、歯でふたのフィルムを噛みちぎり飲み込んでしまった。(0歳・女兒)

②乳幼児のために使う製品でヒヤリ!

ベビーカーで...(338件)

転倒 254件、ぶつけた 31件、転落 19件等

- 上の子がベビーカーを押そうとしていたが、ベビーカーに荷物も掛かっていたため後ろに転倒しそうになった。(1歳・女兒)



ベビーゲートで...(71件)

転落37件、思わぬ所に移動・飛び出し 14件、はさんだ 11件等

- 上の子が出かけるときにゲートがしっかり閉まらず、後追いたした下の子が段差を転げ落ちた。(1歳・男児)



③その他の製品でヒヤリ!

ドア・窓で...(304件)

はさんだ 215件、ぶつけた 74件等

- 下の子(2歳)がドア周辺で遊んでいて、ドアの蝶番周辺に手を置いたときに上の子がドアを開け、指を軽くはさんだ。(2歳・男児)
- 下の子がいるとは知らずに、上の子が勢いよくドアを開けてしまい、ドアノブがおでこにぶつかって、軽く打撲をした。(3歳・男児)



自転車で...(166件)

転倒 160件等



- 下の子を自転車の前部の席に座らせたまま、後部の姉を降ろそうとしたとき、自転車のバランスが崩れて転倒し、下の子が軽いけがをした。(2歳・女兒)

その他にも

- 下の子の歯磨きをしていたら、上の子が背中にのってきて、歯ブラシが喉に突き刺さるところだった。(1歳・女兒)



事故防止のポイント

乳幼児は兄や姉の行動や持っている物に興味を持つことがあります。また、兄や姉も幼いうちは危険を察知するなどの能力は十分発達していません。日ごろからどのようなところに危険が潜んでいるか確認し、安全対策を心がけましょう。

◎製品の対象年齢を守り、遊べる場所や時間を決める。

兄や姉に小さい部品や尖ったものを使わせる場合は乳幼児が遊ぶスペースと物理的に分けたり、乳幼児が起きているときは細かいおもちゃは出さないなどのルールを決める。

◎危険なものに子供の手が届かないようにする。

子供の発達段階に合わせて危険なものを片づけたり、移動させる。おもちゃなどは対象年齢を確認し、使った後は乳幼児の手の届かないところに片づける。特に0～1歳児の誤飲が多いので、口に入る大きさのものが床などに落ちていないか確認する。

◎安全な環境を作る、安全に配慮された製品を使う。

移動防止柵(ベビーゲート、ベビーサークル)などを使用して、危険なものに乳幼児を近づけないための工夫をする。その際、兄や姉の扉の閉め忘れや扉でのはさまれに注意する。

◎目を離さない一人にしない。

◎理解できる年齢の子供には、危険な製品や行為を伝える。

子供の手が届く距離

1歳 = 90センチ
2歳 = 110センチ
3歳 = 120センチ
4歳 = 130センチ
5歳 = 140センチ

手の届く範囲
+
台の高さ



ベビーゲート

STマーク

玩具安全マーク(STマーク)は、「安全面に注意深く作られたおもちゃ」として日本玩具協会が推奨するものです。おもちゃ購入の際に、参考にしましょう。

玩具安全基準合格
4912345 67890 4

ST 20

(一社) 日本玩具協会
東京都墨田区京町4-22-4

相談先を確認しておきましょう。

都内の救急医療相談

東京消防庁救急相談センター

#7119 (プッシュ回線・携帯電話)

ダイヤル回線やつながらない場合は、

23区:03-3212-2323

多摩地区:042-521-2323

急な病気やケガをした場合に、「今すぐ病院へ行くべきか?」、「救急車を呼ぶべきか?」など迷ったときは「東京消防庁救急相談センター」へ相談しましょう。

消費生活相談

消費者ホットライン (局番なし) 188

消費者ホットラインは、全国共通の電話番号で、地方公共団体が設置している身近な消費生活相談窓口をご案内しています。

東京都消費生活総合センター

消費生活相談 03-3235-1155

事故にあったとき、商品・サービスに原因があると思われる場合には、消費生活センター等の機関に申し出ましょう。

インターネットアンケート調査概要

調査対象:兄や姉がいる乳幼児を持つ20歳以上の保護者で、都内または近県にお住いの3,000人

調査時期:令和2年1月

「東京くらしWEB」ヒヤリ・ハット調査

<https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/anzen/hiyarihat/>



乳幼児の事故防止ガイド

乳幼児の「帰省先などの自宅とは異なる住まい」「寝ているとき」などの事故防止ガイドもWEBでご覧いただけます。



Twitter



Facebook



@tocho_shouhi



@tocho.shouhi

ぜひフォローしてください。

【お問合せ先】 東京都生活文化局消費生活部生活安全課
電話 ☎ 03-5388-3055 (直通)

※無断転載を禁じます。



東京都

令和2年度
登録(2)21

R70

この印刷物は、印刷時の新へリサイクルできます。

リサイクル選定